



# 佐藤さんのハウストウモロコシ



「早出しのは最初は珍しいから、お客さんは喜ぶしな」と、採算は考えずにハウスで作っています



今年は春が温暖だったので生育が早いそうです



希少な無農薬&ハウス栽培もの。甘さ、美味しさは抜群です

## ★虫が出ない時期に出すために

佐藤さんのハウストウモロコシが始まりました。トウモロコシは野菜の中で最も虫がつく野菜の1つで昔のトウモロコシはアブラムシ という蛾の白い幼虫がこきこき出てくるのが普通でした。しかし今はそうはいかないので一般的には実をかじった虫が死んでしまう農薬を浸透させて作っています。一方、無農薬で作るおかげさまのトウモロコシは、虫が出る季節より少しでも早く出そうと3月半ばからビニールハウスの中で保温して生育を促進させています。ただ「もっと早く欲しい」というご要望があったため、佐藤さんがビニールハウスの中で育てて出荷をするようになりました。2月から種を蒔くことでトウモロコシものより2週間ぐらい早く出せますし、何よりアブラムシがつくことは基本的に無いのです。ただ多少のアブラムシはどうしても出てしまいます。

「乾燥するとアブラムシが出るからよ、こまめに水をかけるようにしているんだよ」

また、佐藤さんの考えでは、最近のトウモロコシは粒がぎっしり入る前の方が美味しいとのこと。全部入るまで待つと最初に実が入ったところが萎んできてしまうので、そこを見極めて収穫しているそうです。

「今のトウモロコシは甘いけど、昔のものより持たないな。昔のは美味しい時期も長かったし、もいでしばらくたって味は落ちなかったけど、今は収穫時期も短いし、もいだ味が落ちるのも早いんだよ。だからすぐに食べた方が良さそう」手間をかけてきたものを適期で収穫しているので、食べればその甘さや美味しさに驚く人が多い佐藤さんのハウストウモロコシ。食べ逃がしが無いように。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

## 【産地情報】

◎ハウストウモロコシは2週間の期間限定ですので、ご注文し忘れのないように。